

講義名	アミューズメント事業論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	森脇 丈子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	15021

主題と概要

レジャー産業は、社会の生産力が高まり、生活条件が改善されてはじめて登場します。昔から余暇を楽しむ遊びはありました（歌、縁台将棋など）が、余暇の楽しみ方が産業として成り立ち、人々の生活に浸透するには、社会全体の経済力の発達と私たちの生活条件の改善が不可欠でした。

この講義では、レジャー産業の発達の歴史と現状、現代の余暇市場の特徴と問題点などに焦点をあてて学んでいきます。

レジャー産業にはどのような発展可能性があるのか、どのような分野に消費者の潜在的な欲求があるか、消費者の立場からレジャー産業とどうつきあっていけばよいのか等について考えていきます。

到達目標

1. レジャー産業とはどのような領域の産業であるかについて理解します。
2. アミューズメント産業とはどのような領域の産業であるかについて理解します。
3. 日本におけるレジャー産業、アミューズメント産業の歴史について理解します。
4. 少子高齢化社会のなかでのレジャー産業、アミューズメント産業の特徴と課題について理解します。

提出課題

なし

授業のなかでしばしば宿題を出します。次回の授業で口頭で答えられるよう準備しておいてください。

評価の基準

授業での態度や発言（30％）、期末試験（70％）による総合評価をおこないます。

履修者数によって、評価の方法を修正することがあります。

履修にあたっての注意・助言他

授業のなかで学生にたくさんの質問を出し、自分の意見を述べてもらいます。

日頃から、新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や企業活動などに関する情報を収集しておいてください。

第1回目の授業ガイダンスに必ず出席し、授業中の約束事をしっかりと理解したうえで、受講してください。

授業中の私語、スマホ等の利用、教室への勝手な出入りは禁止します。 授業態度の悪い人には退出してもらいます。

関連科目として、下記の科目の授業を勧めます。

教科書

・「使用しない」.

プリント資料及び参考文献

授業の出席者には、授業で使うプリントを毎回配布します。また、テーマに関連した新聞記事を適宜配布します。

参考文献

- ・村上和夫・長田佳久・河東田博編著『たのしみを解剖する アミューズメントの基礎理論』2008年、現代書館。
- ・稲島司（2018）『世界の研究者が警鐘をならす「健康に良い」はウソだらけ 科学的根拠(エビデンス)が解き明かす真実!』、新星出版社
- ・池内了(2008)『疑似科学入門』、岩波書店

授業計画

- 1 授業の内容紹介と授業の進め方について
- 2 レジャー産業とは、どんな業種か
- 3 レジャー産業の歴史について
- 4 アミューズメント産業とは、どんな業種か
- 5 アミューズメント業界の歴史について
- 6 ~11 アミューズメント業の具体例で考える
- 12 消費者が求めるアミューズメントを探る
- 13 アミューズメント業界の課題
- 14 アミューズメント業界の発展可能性
- 15 まとめ

予習・復習

毎回の講義終了時に、次回の範囲とそれに関連する予習項目を提示します。

その日の授業で扱った内容を基にして、次週の授業開始時に復習問題を提示します。口頭で答えられるよう準備しておいてください。

備考

授業中の携帯やスマホの利用、私語など、授業態度の悪い人には退室を求めます。